

子ども議会を企画し興味を持つきっかけに

初めての傍聴を通して町のことを学べた



佐藤 悠貴也さん  
(県北中学校28年度卒業生)

僕は、初めて議会の傍聴をしました。僕の今までの議会のイメージは、堅苦しい、子どもたちには疎遠な場所と考えていました。ですが、昔から政治に興味があり、特に県政に興味がありました。しかし、くくみ議会だよりを見ていたら、一般質問や質疑、採択の内容が載っており、読んでいたらとても面白く、町の政治にも興味を持ち始め、議会の傍聴してみたいと思いました。そして、3月定例会の最終日、傍聴してみようと考えました。

で見ることができたのでとても面白かったです。さらに、資料も用意していただき、内訳や支出など事細かに書かれていて、とてもわかりやすかったです。そして議員の方々が町長に質問したりする質疑、採択が的確でわかりやすく説明をされていて、議会はこんなことを決めたり、話し合ったりしているんだなと思いました。

議会を傍聴してとても勉強になりました。僕たちのような子どもたちにも身近に議会を感じてもらうために、子ども議会の開催を企画してはいいかがでしょうか。そうすれば、町政に興味を持つ小中学生が増えると思います。



山崎 達也さん  
(県北中学校28年度卒業生)

私は、初めて町議会の傍聴をしました。私の親友である、佐藤悠貴也君に誘いをいただきました。悠貴也君は、町議会や国の政治などに興味を持っていて、私に悠貴也君のように、それほど興味があるわけではないけれど、国見町に関わることなら聴いて、見てみようと思いました。

私は少し緊張しながら傍聴席へと入りました。入って第一に感じたのは、たくさん職員、議員によって議会をすることでした。私は、議会は少人数でやるものだと思っていました。実際に見てみると、そうではないとわかりました。

た。傍聴をしてわかったことは、一問一答で行うということです。傍聴をして初めて知ることができたので良かったです。

資料を見て、話を聞いてみると、話している内容がわかって面白かったです。

国見町が学校に対してものすごい金額を支払っていることを聞いてびっくりしました。話を聞いて、改めて感謝しなければいけないと思いました。

途中、内容がわからないところもありましたが、とても勉強になりました。

今まで国見町についてわからないことがありましたが、議会を通して学ぶことができ、ためになりました。今回、議会を傍聴することができて良かったです。

これからは、町のことを考えて生活したいと思いました。

町の復興も順調に進んでおり、これからのまちづくりは地方創生が重要な課題であると思います。町では、道の駅を核とした活力あるまちづくりを目指しています。ぜひ、成功させたいと思います。

今回の議会だよりが、現広報委員最後の広報紙となります。議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。

6月議会号からは、新メンバーで、議会と町民をつなぐ広報紙として、わかりやすく親しみやすい紙面づくりに努めます。今後とも、よろしくお願いたします。

(阿部 泰藏)

- 発行責任者 東海林 一樹
- 議長 渡辺 勝弘
- 広報常任委員会 委員長 佐藤 定男
- 副委員長 浅野 富男
- 委員 阿部 泰藏
- 同 松浦 常雄
- 同 村上 一

